


タイトル	富士山に農鳥が現れました
開催日時	4月25日（木）
内容	<p>富士山に「農鳥（のうとり）」が現れましたので、お知らせします。</p> <p>今年は寒い日が多く、桜の開花も遅れていましたが、4月に入り暖かな陽の光にも恵まれたことから、例年よりも比較的早い出現となりました。</p> <p>麓では厳しい冬の寒さが過ぎ去り、さわやかな風を感じられる暖かく気持ちの良い季節を迎えました。週間天気予報は日々変化していますが、これから迎えるゴールデンウィーク期間中は富士吉田市を訪れ、街中を散策しながら、お気に入りの富士山借景を探してみてください。</p>



【農鳥（のうとり）とは？】

4月下旬～5月にかけて出現する 7合目～8合目標高3,000mあたりの鳥の形状をした残雪。農鳥が出る頃に種粃（たねもみ）を苗間に下ろし、それが卵型になったら田植えをする目安としていた。今は農作業が早まって、実際には農鳥が出現する頃に田植えを行うのが実態。（富士八海をめぐる：博物館刊より）

【いつ頃から？】

文化十一年（1814）に完成した『甲斐国志』と同じ時期に書かれた『隔搔録（かくそうろく）』に農鳥の記述がある

近年の富士山の農鳥（のうとり）記録

2009年（平成21年）	6月7日
2010年（平成22年）	5月21日
2011年（平成23年）	5月13日
2012年（平成24年）	6月4日
2013年（平成25年）	5月24日
2014年（平成26年）	6月3日
2015年（平成27年）	4月6日
2016年（平成28年）	5月12日
2017年（平成29年）	5月11日
2018年（平成30年）	5月11日
2019年（平成31年／令和元年）	4月25日
2020年（令和2年）	5月14日
2021年（令和3年）	5月18日
2022年（令和4年）	4月29日
2023年（令和5年）	5月1日
2024年（令和6年）	4月25日

※農鳥は「のうとり」と読む 関東圏は濁音になるが、郡内は濁らない

問合せ先	富士山課	担当者名	舟久保	連絡先	内線 424
備考					